

予算決算常任委員会（総務分科会）議事日程

平成27年6月15日（月）午前10時10分開議

議事日程

第 1 全体質疑

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（5名）

委員長	山崎道夫	委員		
	廣田清実	委員	小川文子	委員
	藤原由巳	委員	廣田光男	委員

欠席委員（1名）

長谷川和男 委員

地方自治法第121条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

副町長	伊藤清喜	君	総務課長	山本良司	君	
総務課長補佐	野中伸悦	君	総務課	佐々木	円	君
			管財係			
総務課	花立孝美	君	税務課長	佐藤健一	君	
防災交通係長			兼会計管理者			
税務課長補佐	田村一夫	君	企画財政課長	川村勝弘	君	
企画財政課長	佐々木忠道	君	企画財政課	細川嗣人	君	
補佐			財政係長			

職務のために出席した職員

議会事務局長	菊池清美	君	係長	藤原和久	君
--------	------	---	----	------	---

主 事 渡 部 亜由美 君

---

午前10時10分 開議

○委員長（山崎道夫委員） 会議に先立ち委員の皆さんにお諮りいたします。

本委員会の傍聴希望者には、委員会条例第17条第1項の規定により、傍聴の許可をしたいと思いますが、これに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） ご異議がないようでありますので、許可することにいたします。

ただいまの出席委員は4名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

なお、12番、長谷川和男委員は、都合により欠席する旨の通告がありました。

ただいまから本日の予算決算常任委員会総務分科会を開会をいたします。

---

#### 日程第1 付託案件について

○委員長（山崎道夫委員） 本委員会に付託された案件は、議案第44号 平成27年度矢巾町一般会計補正予算（第2号）及び議案第45号 平成27年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）であります。

本日は、総務分科会による一般会計補正予算及び介護保険事業特別会計補正予算に対する質疑を会計ごとに行います。

一般会計補正予算は、総務課、企画財政課の所管する質疑であります。介護保険事業特別会計補正予算は、税務課の所管に対する質疑であります。

質疑の方法についてお諮りいたします。

質疑は、関係する議案の順に従い、歳入歳出を一括して行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようでありますので、そのように進めてまいります。

なお、質疑に当たりましては、事項別明細書のページ数をお知らせを願います。

それでは、直ちに一般会計補正予算を議題といたします。

質疑ございませんか。

小川委員。

○委員（小川文子委員） それでは、私一人で言うのも何ですが、まずはトップとして始めた

いと思います。

ページ数で15ページの電子計算事業の増ということで共通番号制導入事業のことでございますが、ご承知のように国では年金の情報が漏えいしたということでこのマイナンバー制度を一旦中止すると、凍結といいますか、中止するという方向が出されていますけれども、それに伴うことだと思しますので、国からのそういう方針がどういうふうになって、今回この予算案にどのような変化を生じているのかについてお伺いをいたします。

2点目といたしまして、総務としては、教民の関係もあるかと思いますが、矢巾斎苑のところなのですが、ページ数でいきますと17ページですけれども、本年度整備ということになります。少し概略を教えてくださいたいと思います。

そして総務としては、防災の関係がございますので、ページ数でいきますと、18ページの河川改修事業の増ということで、このどこら辺の状況なのかについて、私のほうからはこの3点についてお伺いしたいと思います。

○委員長（山崎道夫委員） 河川改修の関係については、道路都市課になりますので、これについては全体質疑で扱うことにしたいと思いますが、その際にまたお願いします。

それでは、よろしいですか。川村企画財政課長。

○企画財政課長（川村勝弘君） それでは、基本的な考え方についてお話を申し上げたいと思います。この共通番号制度でございますが、ただいまいろいろこの前年金関係の情報漏えいということであったわけですが、まだ国からは、今小川委員お話したとおり中止とか、そういう話はきておりませんので、今の予算につきましては、共通番号制度導入に伴うそれぞれシステムの改修あるいはサーバーの改修ということで計上しているものでございますので、しかるべき来年度正式に番号制度導入というか、実施されるわけですが、それに向かつての予算ということで理解をお願いしたいと思います。

以上でございます。

○委員長（山崎道夫委員） まだ斎場の関係、そっちも全体質疑。次の委員会でどなたか発言あるかもしれませんが、それでは質疑を受けます。

小川委員。

○委員（小川文子委員） 国で明らかに中止するという報道がされていますので、国からそういう国、県を通じて通達が来るかと思えますけれども、予算を上げておいても使うか使わないかは、国からの判断、県から来る判断にはなろうかと思えますが、一応問い合わせというものをなされたのかについてお伺いをいたします。

○委員長（山崎道夫委員） 川村企画財政課長。

○企画財政課長（川村勝弘君） ただいまのご質問にお答えをいたします。

国のほうで中止云々というお話ですが、ただいま申し上げましたとおり、国のほうでは中止をしますというような、多分それぞれの情報漏えいについてのセキュリティーについてそれぞれまた検討しているというか、それぞれのサイバー攻撃に対する情報漏えいの一つのシステムと申しますか、それぞれ民間の方々増員してそれに対する対応するというようなお話をしておりますけれども、今話しましたとおり正式に今回の共通番号制度導入については、とりやめあるいは一時中止をしますよというようなお話というのは、今話しましたとおり来ておりませんので、それぞれ今予算計上させていただいて、それぞれ国等の予算も見込んで今提案しているところでございますので、ご理解を願いたいと思います。

○委員長（山崎道夫委員） 小川委員。

○委員（小川文子委員） このマイナンバー制度については、なかなか中身がわかりにくいのでございますけれども、年金とかについては、住所、電話番号、氏名とかという程度なのだけれども、このマイナンバー制度は、各個人の資産まで一緒に情報として登録されるわけですので、本当にある意味大変情報量としては大変な重いものがあるということをお互いに認識をしたいところでございます。そここのところをつけ加えておきたいと思います。

○委員長（山崎道夫委員） 今のは意見ですね。

そのほかございますか。

○委員長（山崎道夫委員） 廣田清実委員。

○委員（廣田清実委員） 今言われたとおりナンバー制度の導入に関しては、システム変更があるのではないかとこの部分で認識しておりますけれども、そういう部分で大きく変わる部分で予算はこれから変化していくのかなと思いますけれども、以前からあった住民カードというか、そういうカードに関しては、利用があるのか、逆にそういう部分に関して前のカードに移行するのでしょうか、それも重複という形になると思うのですけれども、その名前もちょっと忘れちゃったけれども、住民基本カードだと思ったような記憶がありますけれども、私もとった記憶はあるのですけれども、どこにいったかわからないような状態でございますけれども、その兼ね合いというものはどうなのか。

それから、19ページの消防費なのですけれども、小さい予算ですけれども、各行政区ごとにどのくらいのを配備したのかをお聞きしたいと思います。

○委員長（山崎道夫委員） 住基カードは住民課の、これも、では総括質疑でお願いします。

それから、消防費の関係。花立防災交通係長。

○総務課防災交通係長（花立孝美君） 防災交通係の花立です。よろしくお願いします。

消防費の関係なのですけれども、今回自主防災組織用の備品を実際は購入して、それを補助するというふうな形で考えております。それで中身は、やはり自主防災というふうなPRするためののぼり旗、そして旗を立てるポール、あとは実際災害のときのためのヘルメット、これをまず各10個ずつ、そしてあとはやはり誰が見ても自主防災組織だとわかるようなパトロールのためのベスト、そしてあとは実際避難所とかで使っていただけるようなLED式のランタンであるとか、あとは自家発電できるような感じのラジオとか、こういったものを全ての自主防災組織、一応41になる予定でございますが、こちらのほうにお配りする予定で予算を策定させていただいたものでございます。よろしくお願いします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

そのほかございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） それでは、質疑なしと認めます。

これで一般会計予算の質疑は終わります。

引き続き介護保険事業の特別会計補正予算の質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） 質疑なしと認めます。

---

○委員長（山崎道夫委員） これにて予算決算常任委員会総務分科会について終了します。

引き続き産業建設分科会による質疑を行いますので、若干お待ちをいただきたいと思えます。

午前10時23分 散会

予算決算常任委員会（産業建設分科会）議事日程

平成27年6月15日（月）午前10時24分開議

議事日程

第 1 全体質疑

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（7名）

委員長	山崎道夫	委員		
	高橋安子	委員	村松信一	委員
	昆秀一	委員	藤原梅昭	委員
	高橋七郎	委員	藤原義一	委員

欠席委員（なし）

地方自治法第121条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

副町長	伊藤清喜	君	道路都市課長	菅原弘範	君
道路都市課長			道路都市課	藤原淳也	君
補佐	佐々木芳満	君	都市計画係長		
商工観光課長	浅沼仁	君	商工観光課	高橋保	君
			観光係長		

職務のために出席した職員

議会事務局長	菊池清美	君	係長	藤原和久	君
主事	渡部亜由美	君			





---

午前10時24分 開議

○委員長（山崎道夫委員） ただいまから本日の予算決算常任委員会産業分科会を開会をいたします。

---

日程第1 付託案件について

○委員長（山崎道夫委員） 本委員会に付託された案件は、議案第44号 平成27年度矢巾町一般会計補正予算（第2号）及び議案第45号 平成27年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）であります。産業建設分科会による質疑でありますので、一般会計補正予算のみの質疑を行います。

一般会計補正予算は、道路都市課、商工観光課の所管に対する質疑であります。

質疑の方法についてお諮りいたします。

質疑は、歳入歳出を一括して行いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようでありますので、そのように進めてまいります。

なお、質疑に当たりましては、事項別明細書のページ数をお知らせ願います。

それでは、直ちに一般会計補正予算を議題といたします。

質疑ございませんか。

高橋七郎委員。

○委員（高橋七郎委員） 18ページの土木費の中の河川改修工事業というのの増なのですが、その内容をどこをやるのかということをお聞きしたいということと、あともう一つ、河川に雨量のカメラをつけたいという話をしていましたけれども、その辺、どのようになったのか、この2点についてお伺いしたいと思います。

○委員長（山崎道夫委員） 佐々木道路都市課課長補佐。

○道路都市課長補佐（佐々木芳満君） ただいまのご質問にお答えいたします。

まず1点目の河川改良事業につきましてですが、これにつきましては、昨年度から継続しております大白沢地区の小水路の側溝敷設になっております。それと一部藤沢地区の、やはり小水路ということで側溝敷設、あわせての工事請負費となっております。

それと監視カメラにつきましては、これは防災のほうの事業で行うものになっておりましたので、総務課のほうの担当となります。よろしくお願いたします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

高橋委員。

○委員（高橋安子委員） 3点ほどお伺いしたいのですけれども、17ページの商工費のところなのですけれども、観光推進事業についてなのですが、フランス派遣の人員とか人数など、派遣内容と内訳がどうなっているのかお聞きしたいと思います。

2点目は、18ページの土木費についてなのですけれども、道路橋梁工事、道路維持費、道路新設改良費の場所はどこであるのかお伺いしたいと思います。

3点目なのですけれども、20ページの災害復旧工事の道路橋梁災害復旧工事の場所はどこか教えていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（山崎道夫委員） 高橋観光係長。

○商工観光課観光係長（高橋 保君） ただいまの1点目のチャグチャグ馬コフランス派遣に伴う負担金についての質問についてお答えを申し上げます。

まずチャグチャグ馬コにつきましては、皆さんご存じのとおり毎年6月の第2週目に行っておりまして、おとといの13日の土曜日に盛大に開催されたところでございます。今回負担金をお願いするものでございますが、チャグチャグ馬コに使われているものがほとんどがペルシオン種になっておりまして、その原産国がフランスになってございます。今回ペルシオン地方に本部があります。ペルシオン協会、こちらのほうで主催しておりますペルシオン馬祭りというところから参加の要請がございました。この事業につきましては、毎年テーマを決めておりまして、「東の果てのペルシオン」というふうな題名で今回開催されるということで時期につきましては、8月15日でございます。

内容につきましては、各同好会支部、盛岡、滝沢、矢巾支部でございますが、こちらの支部の同好会員各2名、そして保存会事務局、いわゆる盛岡市、滝沢市、矢巾町から1人、これは今調整してございます。それとアテンド、いわゆる通訳1名の旅費、そして馬コの装束、これを2つ持っていくことにしておりまして、現地でも馬に装束を着せるものでございますが、装束の運搬費、それと保険代でございます。

期間につきましては、8月11日から8月17日の7日間の旅費行程で進むものでございます。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） 菅原道路都市課長。

○道路都市課長（菅原弘範君） それでは、2点目の維持、新設の部分の場所はどこかということでございます。まず17ページの道路維持費の部分の場所につきましては、安庭線のJRの地下道のグレーチングがちょっと緩んでおりますので、その取りかえ工事を予定しております。

それから、道路新設改良費につきましては、1つは、協働の道づくり事業で室岡地区を1カ所予定をしております。

それから、18ページのほうの交通安全施設整備につきましては、町道白北線の関係で物件移転補償ということで、電力、NTT、有線柱の移設、それから消火栓の移設を予定しているものでございます。

それから、20ページの橋梁災害復旧費ということでございますが、こちらにつきましては、岩崎川橋、煙山小学校の南側の橋が現在工事中なわけでございますが、歩道の仮橋を設置しております。それでその工事に伴いまして、その歩道を場所を移設しなければなりません。現在東側のほうにございますが、今度西側のほうに移設をするということでその工事費を予定をしております。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） 高橋委員、よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

昆秀一委員。

○委員（昆 秀一委員） 18ページの都市公園事業の場所をお教えてください。

○委員長（山崎道夫委員） 藤原都市計画係長。

○道路都市課都市計画係長（藤原淳也君） 都市計画係の藤原でございます。よろしく願いいたします。

修繕の場所ということですが、ご質問の場所につきましては、北川公園、あじさい第1公園、南昌台第2公園、西徳田ニュータウン公園、明堂公園、諏訪団地公園、みんなの広場、また広宮沢公園のナイター等も考えてございますので、よろしく願いいたしたいと思っております。

○委員長（山崎道夫委員） いいですか、ちょっと早口でなかなか、ゆっくり言ってもらわないと。

○道路都市課都市計画係長（藤原淳也君） 申しわけございません。北川公園、あじさい第1公園、南昌台第2公園、西徳田ニュータウン公園、明堂公園、諏訪団地公園、あとはみんなの広場、それとあと広宮沢公園の野球場ナイター設備等でございます。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。昆委員、いいですか。  
そのほかございますか。

藤原梅昭委員。

○委員（藤原梅昭委員） それでは、さっきの岩崎川の関連ですけれども、仮橋を移設ということなわけですけれども、具体的な日程とか、あと岩崎橋の具体的な完成予定のあたりの話があれば、詳しくお聞きしたいなど。

それから、18ページの住宅管理事業、これは具体的にどこの場所をどのような形にするのか、これもお聞かせください、その2点です。

○委員長（山崎道夫委員） 佐々木道路都市課長補佐。

○道路都市課長補佐（佐々木芳満君） ただいまのご質問にお答えいたします。

まず1点目の岩崎川橋につきましての仮橋あるいは今後の予定ということですが、仮橋につきましては、今現在、先ほど課長から申し上げましたとおり、岩崎川橋の下流側、いわゆる東側に設置しておるわけなのですが、その仮設の橋梁の下部工の施工にぶつかるということで今考えているのは、上流側、西側のほうに移設をするというような計画で考えております。

こちらのほうにつきましては、仮橋、東側だと公民館とか、そういったものがあって、ある程度夜間でもちょっと明るいといたしますか、見えやすい状態だったのですけれども、西側にいくことによって、ちょっと暗くなりますので、投光器とか、そういったものも備えつけながら仮橋を設置することとしております。今現在調整中ですので、そういった予定で進んでおります。

あと岩崎川橋本体の予定ですが、今現在は県のほうで工事を順次行っている状況で、来年、28年3月を目標に今現在工事を進めているところであります。先月、5月の末、近隣の行政区を対象に岩崎川橋の工事説明会を行って、地元の方々にもお示ししたところですが、今後もちラシあるいは何らかの回覧とかでそれぞれの工程を皆さんにお示ししながら進めるということでお聞きしております。

2点目の住宅管理事業の内容ですが、これにつきましては修繕料につきましては、町営住宅の入退居があります。その退居した際の修繕を行うための費用ということになっておりま

す。やはり畳あるいはクロスとか、そういったところの取りかえをしながら次の方に入居してもらおうというような作業がありますので、そういったところにつきまして費用を計上しております。

場所につきましては、特に今後も入退居が出てきますので、そのものになりますが、今現在まだ修繕のほう行っていないところが森が丘住宅のほうで若干ありますので、やはり入居の使用料もいただけるように、今後も入居の手続きをとって入っていただくというようなことで考えております。

工事請負費につきましては、三堤住宅の、ここにつきましては4階建てでありますので、ポンプで高架水槽を設けております。その施設の一部、弁の補修が必要となったことから今回工事請負費として計上させていただいております。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

昆委員。

○委員（昆 秀一委員） 先ほどの都市公園維持補修事業なのですけれども、これ補正前1,783万5,000円で今回45万円つくのですけれども、この場所、どういうふうに、要望が出て選んでいくのか。それとも、どのような、ちょっとした改修だとは思うのですけれども、どういう要望が出てやるものなのか、自分たちでパトロールして選ぶものなのかお聞かせください。

○委員長（山崎道夫委員） 菅原道路都市課長。

○道路都市課長（菅原弘範君） ただいまのご質問にお答えをいたしたいと思えます。

公園につきましては、都市公園6カ所と、それからそれ以外合わせて60カ所ほど町で管理していると。地元をお願いしている部分もございます。それで今回お願いする部分につきましては、大半がネットあるいはベンチをやっぱり長年経過して壊れたり、あるいはちょっと座る際に外れていたりということがございまして、地域からのお話があつて、やっぱりこれは直さなければならないだろうということで今回お願いしている部分でございます。

もう一カ所、先ほど広宮沢公園ということでございましたけれども、照明施設のポールのところはちょっと不足しておりましたので、それが倒壊しないような補強といいますか、補修ということで現在考えておりますので、そういった費用に使いたいということで計上させていただいておりますので、よろしく申し上げます。

以上、お答えとします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

藤原梅昭委員。

○委員（藤原梅昭委員） ちょっとその都市公園の件で、以前あった話でシーソーのねじが取れて、非常に危険だという住民からの話があったのですが、それは今回対象になっていますか。それとも、もう既に修繕終わっているのかな。ちょっと確認です。

○委員長（山崎道夫委員） 菅原道路都市課長。

○道路都市課長（菅原弘範君） それでは、ただいまのご質問にお答えをいたしたいと思いません。

確かに以前シーソーでけがをするという話がありまして、そういうものにつきましては、撤去済みでございます。まだ公園の中に何か所か、そういうシーソーみたいなのがございますが、いずれ危険ということであれば、本来であれば手直しできればいいわけですが、結構経費がかかるということでそういった際については、撤去も含めて対応せざるを得ないのかなとは思っておりますが、いずれ現在は、その危ない部分に関しましては、撤去済みということでご理解いただきたいと思えます。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですね。

（「はい」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

（「ありません」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） それでは、一般会計補正予算の質疑を終わります。

---

○委員長（山崎道夫委員） これにて産業建設分科会を散会をいたします。

引き続き、教育民生分科会を用意ができましたら開催をします。

午前10時42分 散会

予算決算常任委員会（教育民生分科会）議事日程

平成27年6月15日（月）午前10時44分開議

議事日程

第 1 全体質疑

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（7名）

委員長	山崎道夫	委員		
	赤丸秀雄	委員	水本淳一	委員
	齊藤正範	委員	川村農夫	委員
	川村よし子	委員	米倉清志	委員

欠席委員（なし）

地方自治法第121条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

副町長	伊藤清喜	君	住民課長	村松康志	君
住民課長補佐	吉田	徹	住民課	村松之	子
住民課			児童係長		
環境係長	佐々木	美香	生きがい推進	菊池	由紀
生きがい推進課			課長		
健康推進室主幹	村松	徹	生きがい推進課	高橋	寿
教育長	越	秀敏	介護保険係長		
学務課長補佐	田村	英典	学務課長	立花	常喜
			学務課	川村	学
社会教育課長	山本	功	学校教育係長		
			社会教育課長	鎌田	順子
			補佐		

社会教育課  
文化財係長 佐々木 正史 君

社会教育課推進  
団体長 稲垣 譲二 君  
社団室

**職務のために出席した職員**

議会事務局長 菊池 清美 君  
主 事 渡部 亜由美 君

係 長 藤原 和久 君



---

午前10時44分 開議

○委員長（山崎道夫委員） ただいまの出席委員は7名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立をいたしました。

ただいまから予算決算常任委員会教育民生分科会を開会をいたします。

---

日程第1 付託案件について

○委員長（山崎道夫委員） 本委員会に付託された案件は、議案第44号 平成27年度矢巾町一般会計補正予算（第2号）及び議案第45号 平成27年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）であります。

本日は、教育民生分科会による一般会計補正予算、介護保険事業特別会計補正予算に対する質疑を会計ごとに行います。一般会計補正予算は、生きがい推進課、住民課、学務課、社会教育課の所管に関する質疑であります。介護保険事業特別会計予算は、生きがい推進課の所管に対する質疑であります。

質疑の方法についてお諮りをいたします。

質疑は、関係する議案の順に従い、歳入歳出を一括して行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようでありますので、そのように進めてまいります。

なお、質疑に当たりましては、事項別明細書のページ数をお知らせ願いたいと思います。

それでは、直ちに一般会計補正予算を議題といたします。

質疑ございませんか。

水本委員。

○委員（水本淳一委員） それでは、3点ほどお伺いしたいと思います。

まず先ほど出ましたけれども、総務管理費、15ページです。以前から使用されている住民基本カードは、どうなっているかお伺いしたいと思います。

それから、教育民生のほうですけれども、一般会計、19ページ、教育費ですけれども、教育振興総務事業の使用料の内訳と賃借の場所はどこなのか伺いたいです。

○委員長（山崎道夫委員） 村松住民課長。

○住民課長（村松康志君） 住基カードにつきましては、現在使用していただいているところ

でございますけれども、期限がございまして、その期限までは使用をしていただくことになってございます。そして、更新時には、マイナンバーカードに移行するというふうな流れになってございます。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） 田村学務課長補佐。

○学務課長補佐（田村英典君） お答えいたします。

それでは、19ページ、10款教育費の1項使用料及び賃借料ということでご説明申し上げます。教育委員会のほうにマイクロバス1台ございました。そのマイクロバスで学校行事、それからスポーツ活動等の遠征などに使用しておりましたが、そのマイクロバスの車検が毎年5月末日までということで今回もマイクロバス車検、それから整備ということで業者のほうにお願いしましたところ、車体に穴があいているという状況で修繕料が大きなお金がかかりますよということで見積もりをいただきました。そういった中で穴があいている修繕が100万円以上かかると、それプラス、私も車下部を確認したところ、かなりさびがきておまして、このまま穴をあいたところだけ修繕しても、子どもさん方を乗せたりして長距離を運転した場合、近い距離でも同じなのですが、非常に危険な状況だということで、このバスはもう使えないだろうということで業者さんとも打ち合わせしまして、そのような判断をいただいたということで、今後はそういった活動に使うバスについては、町所有の2台のマイクロバス、それから1台の大型バス、それからそのバス等が他の行事で使われている場合については、リース、1日契約当たりリースしましょうということで1日当たり2万1,600円ということで、昨年ベースで約平日は68回ほど、平日でマイクロバスが出ておりましたので、65回分の予算ということで賃借料ということで今回140万4,000円お願いするという状況で、何とかあるバスと、それからお借りするバスで不自由ないという状況をつくってバスを運行したいということでこの賃借料を予算計上するものです。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。水本委員。

○委員（水本淳一委員） カヌーとか、不来方高校でも使っていますけれども、今までどおり使えるわけですね、不便なくですね。

○委員長（山崎道夫委員） 田村学務課長補佐。

○学務課長補佐（田村英典君） お答えいたします。

不来方高校のカヌーにつきましては、今までですと、活動場所への送迎ということで使っ

ていただいておりますが、このような状況でちょっと今回については、毎日送迎に使っていただくというわけにはいかないということで、事前にお断りを申し上げましたところ、不來方高校さんのほうでは、国体の強化ということで県から補助金が出るということで、ことしの分については、そちらのほうでカバーしていただけるということでお話をさせていただいております。

以上、お答えいたします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。そのほかございますか。

川村委員。

○委員（川村よし子委員） 3点お伺いします。

ページ数は16ページの児童福祉費、保育委託事業の町外私立保育園ということで、どのくらいの方々がどのような、主な保育園、教えていただきたいと思います。そしてその町村によって保育料が違うと思いますけれども、そういうからくりをちょっと教えていただきたいと思います。

それから2点目ですけれども、同じページで母子福祉費の子どもの医療費、小学生医療費助成が小学校3年生までということがここに載っていると思いますけれども、今までの小学生の医療費、どのような疾患が多かったのか。そして、それを見てこのような予算を立てていると思うのですけれども、入院とかはどうなっているのか、もし調べていればお知らせください。

それから、3点目も同じページ数です。保健衛生費、成人検診事業の増、それから母子保健事業の増のところで臨時の賃金がかかってありますけれども、保健師とか看護師、それから事務とか雇うと思いますけれども、どのような職種で何人を見込んで、どのような期間働いているのかお聞きいたします。

以上です。

○委員長（山崎道夫委員） 村松住民課長。

○住民課長（村松康志君） 1点目、お答えいたします。

1点目の町外私立保育園運営委託料の増でございますけれども、当初予算を見込んだときには、平成26年度の実績で年間平均14名ほどの町外保育の方がおりました。ところが、ふたをあけてみますと、27年4月では、もう23名ということで1.6倍ということで非常に経費がかかったということでございまして、このままでは当然年度内で支払い切れないということでございまして、それで今回補正をお願いするものでございます。

そしてこれは転入にかかって、転入する方が転入したのだけれども、自分のお子さんをやっぱり今までいた保育園に残したいという、そういった意向が強いのかなというふうに思っております。主な保育園は、やはり盛岡市、あとは盛岡市の中の都南、そこら辺が多い状況となっております。

2点目の小学生のどのような疾患が多いかということにつきましては、……

○委員長（山崎道夫委員） 吉田課長補佐。

○住民課長補佐（吉田 徹君） それでは、川村よし子委員さんの2点目の医療費助成に関してどのような疾患の内容があるか調べていたかということでございますけれども、こちらの件に関しては、特にどのような疾患があるかというような形の内容で調べた上で予算措置はしていなくて、ひとり親世帯で小学校に既に給付している医療費助成の実例から1人当たりの医療費を出したような形の中で予算措置をしているような形でありまして、委員がご質問にありましたような、疾病の種別までは残念ながらとっていないところでございます。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） 村松健康推進室主幹。

○生きがい推進課健康推進室主幹（村松 徹君） 生きがい推進課の村松と申します。よろしくお願ひ申し上げます。ただいまの川村よし子委員の3点目のご質問にお答えしたいと思います。

16ページの成人あるいは母子における臨時雇賃金の内容、どのような職種の方をどれぐらいの期間、何名雇用するのかというご質問でございますけれども、それぞれ町の保健師が成人検診あるいは母子保健の担当保健師がそれぞれ産前休暇に入る予定になってございます。7月末からのものと8月当初からのものと2名おりますので、その保健師の産休代替の臨時雇賃金を計上させていただいております。

なお、人数は、それぞれ1名ずつ月額の嘱託の職員を雇用したいということで月額が17万円になっておりますので、それに通勤手当を加算した分の8月からの8カ月、それぞれ8カ月分を計上させていただいているところでございます。よろしくお願ひいたします。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） ないようでございますので、これで一般会計補正予算の質疑を終わります。

引き続き、介護保険事業特別会計補正予算の質疑に入ります。

質疑ございませんか。

水本委員。

○委員（水本淳一委員） 15ページですけれども、保険給付費ですけれども、高額医療合算サービス給付費ですけれども、当初は185万円でしたけれども、400万円に補正後は、2倍近くなっていますけれども、もうちょっと詳しい内容を聞かせていただきたいと思います。

○委員長（山崎道夫委員） 高橋介護保険係長。

○生きがい推進課介護保険係長（高橋 寿君） ただいまの質問にお答えいたします。

高額医療合算サービス費につきましては、前年度の同時期の支給額が約171万円となっておりますが、今年度また同時期の給付予定額、こちらが1,316万円となっております。人数としては、昨年度同時期が81件に対しまして、今年度は既に116件と35件増加しております。それにつきましても、既に予算の額をオーバーしてしまっておりますので、それに対する今回補正を要求するものでございます。

以上、お答えいたします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

齊藤委員。

○委員（齊藤正範委員） 12ページ、低所得者保険の軽減措置の繰入金が増なのですけれども、この内訳について知らせてもらいたいと思います。

○委員長（山崎道夫委員） 高橋介護保険係長。

○生きがい推進課介護保険係長（高橋 寿君） ただいまのご質問にお答えいたします。

一般会計の繰入金でございますけれども、こちらは介護給付費繰入金の増となっております。こちらが23万1,000円となっておりまして、こちらの内訳でございますが23万1,000円というのがただいまの高額医療合算サービス費、こちら185万円、今回補正の予定でございますけれども、これに対するこちらが町の負担分12.5%が町からの繰入金ということになっておりまして、185万円の12.5%、こちらが23万1,000円ということになっております。続きまして、事務費の繰入金、こちらでございますが、107万8,000円ということになっておりますが、

こちらは臨時職員、申しわけありません。こちら107万8,000円でございますが、一般管理費、特別会計のほうで補正をいたしました分……

○委員長（山崎道夫委員） 不明であれば、後刻でもいいですよ、時間かかるようであれば。

菊池生きがい推進課長。

○生きがい推進課長（菊池由紀君） 介護保険の特別会計の仕組み上、支出と歳入のつじつま合わせということが、つじつま合わせというか、そういうふうな仕組みになっていますが、それぞれ町の負担、県の負担、国の負担という仕組みがありまして、支出に対しまして事務費も補うということになりますので、町からの支出がそのような状況にあるということをご説明させていただきます。

○委員長（山崎道夫委員） わかりました。よろしいですか、そういうことで。

（「はい」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） それでは、質疑ないようでございますので、これで質疑を終わりたいと思います。

介護保険事業特別会計補正予算の質疑を終わります。

---

○委員長（山崎道夫委員） これにて予算決算常任委員会教育民生分科会を散会をいたします。

引き続き、準備ができましたならば、予算決算常任委員会の全体質疑を行いたいと思います。

午前11時06分 散会

予算決算常任委員会（全体質疑）議事日程

平成27年6月15日（月）午前11時20分開議

議事日程

第 1 全体質疑

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（17名）

委員長	山崎道夫	委員			
	赤丸秀雄	委員		水本淳一	委員
	廣田清実	委員		高橋安子	委員
	齊藤正範	委員		村松信一	委員
	昆秀一	委員		藤原梅昭	委員
	川村農夫	委員		高橋七郎	委員
	川村よし子	委員		小川文子	委員
	藤原由巳	委員		藤原義一	委員
	米倉清志	委員		廣田光男	委員

欠席委員（1名）

長谷川和男 委員

地方自治法第121条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

副町長	伊藤清喜君	総務課長	山本良司君
企画財政課長	川村勝弘君	税務課長 兼会計管理者	佐藤健一君
生きがい推進 課長	菊池由紀君	住民課長	村松康志君

道路都市課長 菅原弘範君  
教 育 長 越 秀敏君  
社会教育課長 山本 功君

商工観光課長 浅沼 仁君  
学務課長 立花常喜君

**職務のために出席した職員**

議会事務局長 菊池清美君  
主 事 渡部 亜由美君

係 長 藤原和久君



---

午前 11 時 20 分 開議

○委員長（山崎道夫委員） ただいまの出席委員は16名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

なお、12番、長谷川和男委員は、都合により欠席する旨の通告がありました。

ただいまから本日の予算決算常任委員会を開会をいたします。

---

#### 日程第1 全体質疑

○委員長（山崎道夫委員） ただいまから全体質疑を行います。

本委員会に付託された案件は、議案第44号 平成27年度矢巾町一般会計補正予算（第2号）及び議案第45号 平成27年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）であります。

質疑の方法についてお諮りをいたします。

質疑は、関係する議案の順に従い、歳入歳出を一括して行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようでありますので、そのように進めてまいります。

なお、質疑に当たりましては、事項別明細書のページ数をお知らせ願います。

初めに、一般会計補正予算の質疑を受けます。

昆秀一委員。

○委員（昆 秀一委員） 16ページの小学生医療助成事業なのですが、これは3年生の通院までということですが、なぜ3年生までとなったのかお教えてください。

あともう一つ、今後これ検討していくと町長の答弁だったので、今後4年生、5年生と助成していく場合の、その判断はどのようになされるのか。

○委員長（山崎道夫委員） 村松住民課長。

○住民課長（村松康志君） お答え申し上げます。

小学3年生までということで今回予算計上させていただきましたその理由でございますけれども、今までのデータを見てみますと、小1から小3、小4から小6を比べますと、小1から小3のほうがやや医療に係る件数が多いということで、まずはそちらのほうに重きを置いて、助成をしようということで今回3年生までとしたところでございます。

以上、お答えといたします。

(何事か声あり)

○委員長(山崎道夫委員) 今後につきましても町長答弁で一般質問で申し上げたとおりでございますが、この結果、8月診療からこの助成をするわけですが、8、9、10、11、4カ月、当初予算の見積もりまで4カ月ありますので、その4カ月間を利用しましてその傾向、そこから辺をしっかりと見きわめながらどのようにしていくかということ町長とも協議しながら進んでまいりたいと思っております。

以上、お答えいたします。

○委員長(山崎道夫委員) そのほかございますか。

川村よし子委員。

○委員(川村よし子委員) 子どもの医療費、小学生の医療費についてお伺いします。

もうこれは画期的なことですけれども、この予算を立てるときに、一部負担が矢巾町はあるわけですけれども、その一部負担のところをどのくらい見ているのかお伺いします。

それから、もし一部負担がなくなれば、どのくらいを見ているのかお伺いします。

○委員長(山崎道夫委員) 村松住民課長。

○住民課長(村松康志君) ただいまの質問にお答えいたします。

一部負担につきましては、この医療費助成は、主に県の事業に準じているものでございますが、県では入院に関しては5,000円の一部負担、外来に対しましては1,500円の一部負担がございます。矢巾町においては、それを半額として、入院は2,500円、外来は750円というふうにしておりますし、さらに県で設けております所得制限、所得がある方に対する制限、これも撤廃しているところでございます。

この一部負担金を完全無料化したらどうなるかというお話、2点目でございますけれども、例えば小学校1年生から小学校3年生、今見積もりでは扶助費ということで医療給付費660万円ほどを見込んでいるわけなのですけれども、自己負担がもしなくなれば700万円ほど、さらに770万円ほどかかるというふうに見込んでいるところでございます。

以上、お答えとします。

○委員長(山崎道夫委員) よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○委員長(山崎道夫委員) そのほかございますか。

小川委員。

○委員(小川文子委員) 関連でお聞きをいたします。県の乳幼児医療費の場合の負担は、就

学前まででございますが、この1年生から3年生の分については、県負担がないと考えられますが、町だけの単独ということになると750円なのかどうか、そこら辺をお聞きしたいと思います。

○委員長（山崎道夫委員） 村松住民課長。

○住民課長（村松康志君） ただいまの質問にお答えいたします。

町単独事業といたしまして750円でやっていきたいというふうに考えてございます。

以上、お答えいたします。

○委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

藤原梅昭委員。

○委員（藤原梅昭委員） 2点、ちょっと確認したいのですが、17ページ、矢巾斎苑の事業の増ということで、これ819万円増額になっているわけなのですが、この819万円の増額の内訳と、あとその駐車場整備の具体的な日程がはっきりしていれば教えていただきたいのですが、それが1点と。

それから、19ページの自主防災組織なのですが、これは補助金には直接関係はないのですが、防災組織は今どのぐらいまで組織化されたのか、これちょっとお聞かせください。

○委員長（山崎道夫委員） 村松住民課長。

○住民課長（村松康志君） お答えいたします。

矢巾斎苑の駐車場につきましてですが、平成26年度では森山側の3筆を除いた3筆を、北側の3筆を購入いたしましたところでございます。面積にして1,279平米でございました。その後70台ということで当初計画しておりましたが、その後精査した結果、斎苑の駐車場と連続的な使用ができない、不連続な上、あと形状が非常にいびつであるということで当初予定の70台、これが確保できないということがわかりました。こういった状況のときに今年度に入りまして森山側の3筆を持っている地権者の方々から駐車場用地として提供したいという申し出がございまして、これを取得することによりまして、形状的にも非常に景観的にもまとまりができますし、利用者にとってより使いやすい、一体的な駐車場になるということで今回取得をさせていただきたいなということで、これによりまして大体駐車台数は60台プラスあとバスの駐車場が確保できる見込みでございます。

内訳でございますけれども、用地の購入費が114万8,000円で工事請負費が704万2,000円の増ということになってございます。よろしくお願ひ申し上げます。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） 山本総務課長。

○総務課長（山本良司君） ご質問の2点目につきましてお答えいたします。

防災組織、自主防災のほうの関係でございますけれども、現在5月末の数値になりますけれども、現在35組織ということで前年部分から見ますと、約5組織ほど多くなっております。現在未設置の行政区、コミュニティにつきましては6組織というふうな状況になってございます。

なお、19ページの関係の地域防災組織育成補助金ということで203万7,000円、今回歳出補正、お願いしているところでございますけれども、この部分、先ほど総務常任委員会のほうで係長のほうからご説明申し上げましたけれども、この部分の育成補助につきましては41行政区予定しているところでございます。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） 藤原梅昭委員。

○委員（藤原梅昭委員） 関連でちょっと確認したいのですが、あと斎苑のほうのこの後の具体的なスケジュール、それも教えてください。

それから、自主防災組織の未6という、その6組織は、やるのかやらないのか。それともいつまでにやる予定なのか、それもあわせて教えてください。

○委員長（山崎道夫委員） 村松住民課長。

○住民課長（村松康志君） お答えいたします。

斎苑の駐車場につきましては、今回の補正予算がもし可決させていただきましたならば、早急に地権者に用地交渉をいたしまして、何とか年度内に工事も完成させるようにし、住民の皆さんに使用していただくようスピードを速めて着工していきたいというふうに考えてございます。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） 山本総務課長。

○総務課長（山本良司君） 2点目のご質問にお答えいたします。

未設置6組織のうちの状況でございます。こちらにつきましては、会議等行われる都度、町のほうから組織化お願いしているところでございまして、6組織のうちかなり熟度がもうでき上がったり、活動的なものを実施されているところが2つございます。もう既にでき上がったり、いろいろ用品をそろえたりしているところがございまして、あとの残り4の組織

になりますけれども、ここら辺につきましてもお願いと申しますか、こちら防災関係、町と連携しながら進めさせていただきたいというふうに考えてございます。

以上、お答えといたします。

○委員長（山崎道夫委員） よろしいですね。

そのほかございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） それでは、質疑を打ち切って、一般会計補正予算の質疑はこれで終わりたいと思います。

引き続き、介護保険事業特別会計補正予算について質疑を受けたいと思います。質疑ございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） 質疑ないようでありますので、これで介護保険事業特別会計補正予算の質疑を終わります。

この後、分科会ごとに附帯意見を取りまとめをしていただき、当職まで提出をお願いいたします。

なお、附帯意見等の草案は、分科会ごとの取りまとめを参考に当職と副委員長にてまとめ、再開後提出し、成案としたいと思います。

ここで暫時休憩をします。副町長以下、参与の方々は退席して結構であります。

大変お疲れさまでございました。

午前 11 時 36 分 休憩

-----  
午前 11 時 42 分 再開

○委員長（山崎道夫委員） それでは、再開をしたいと思います。

先ほどの休憩中のお話もございますが、それぞれの分科会から附帯意見等がないということで、その扱いについて今事務局からの協力を得ながら一定の整理をしましたが、ただいまから皆さんのところに配られましたその草案を職員に朗読させていただきます。

（職員朗読）

○委員長（山崎道夫委員） このように取りまとめをいたしました。皆さんのほうから質疑とかご意見ございますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） それでは、お諮りをいたします。

この審査報告書を成案といたしまして、議長に提出することに決定したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（山崎道夫委員） それでは、そのような取り扱いをしまいたいと思います。

---

○委員長（山崎道夫委員） これをもって予算決算常任委員会を閉会をいたします。

大変ご苦労さまでございました。

午前 11 時 45 分 閉会